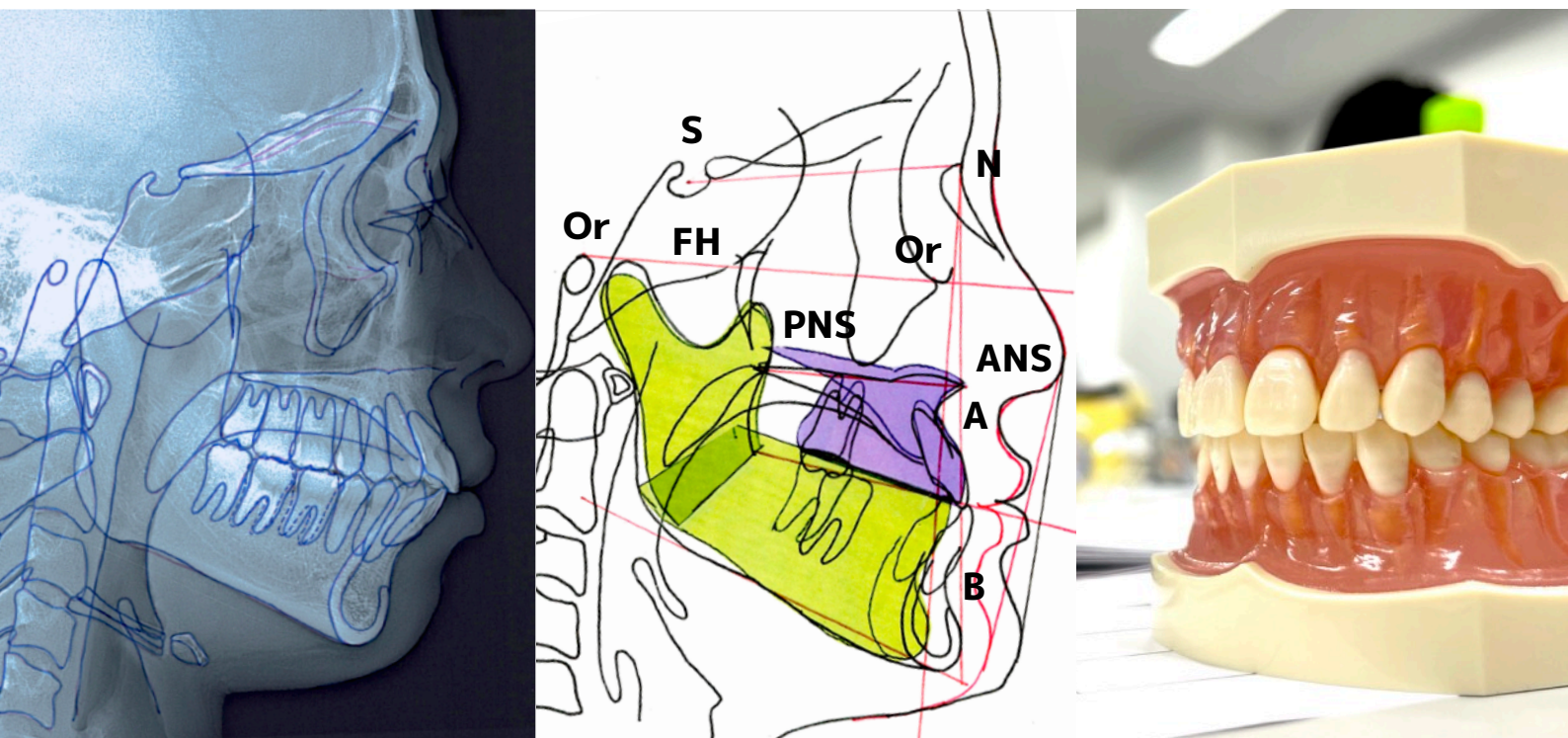


[report]

FACEsWorkshop2022

日本頭蓋顎顔面外科学会 第18回学術講習会 報告記

学術委員長 小山明彦（福島県立医科大学 形成外科）



歯科矯正マスターコース ～基礎知識からプランニングまで～

日本頭蓋顎顔面外科学会 第18回学術講習会「**FACEsWorkshop2022**」が、第40回学術集会終了翌日の2022年11月19日(土)に藤田医科大学ばんだね病院にて開催されました。

今回は歯科矯正学をマスターするコースです。顎顔面外科に必要な矯正歯科学の知識と手術プランニングを習得するコース頭蓋顎顔面外科手術に携わる形成外科医が矯正歯科医との共通言語を獲得しなければなりません。そのためのCephalogram分析法やモデルサージャリーを学び、プランニングの基礎からアドバンスを習得する充実の内容のプログラムとなっています。応募開始からあっという間に募集定員に達してしまい、定員の30名を超える35名の受講生が参加してくださいました。

坂本輝雄先生がコースディレクターとしてプログラムをまとめてくださり、講師と学術委員で内容を磨き上げ、当日は13名のファカルティーでインストラクションにあたりました。また、藤田医科大学形成外科の教室員のみなさまにも会場セッティング等のご準備に多大なるご協力をいただきました。

Faculty

[コースディレクター]

坂本 輝雄 東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科（学術委員）

[講師]（五十音順）

赤松 正 東海大学形成外科
 秋元 正宇 日本医科大学千葉北総病院形成外科（学術委員）
 石井 武展 東京歯科大学歯科矯正学講座
 宇田 宏一 リラクラニオフェイシャルクリニック（学術委員）
 奥本 隆行 藤田医科大学形成外科（学術委員）
 小山 明彦 福島県立医科大学形成外科（学術委員長）
 加持 秀明 静岡県立こども病院形成外科
 近藤 俊 藤田医科大学矯正歯科
 坂本 好昭 慶応大学形成外科（学術委員）
 須佐美隆史 ひろい歯科・すさみ矯正歯科
 森下 格 天神矯正歯科クリニック
 杠 俊介 信州大学形成外科（学術副委員長）



コースディレクター
坂本輝雄先生

Timetable

	テーマ	時間（分）	内容	講師
9:00	開会の挨拶	5		小山明彦
9:05	オリエンテーション	5	プログラムの説明	坂本輝雄
9:10	基礎的な口腔解剖	80	歯の解剖・正常咬合 歯胚形成・萌出時期 Angle分類	赤松 正
10:30	coffee break	10		
10:40	歯科X線の読影法 セファログラムの基礎知識	90	模型分析・セファロ分析 トレースの実習	坂本輝雄
12:10	Lunch	60		
13:10	プランニング ①	30	矯正歯科の立場から	石井武展
13:40	プランニング ②	30	形成外科の立場から	宇田宏一 加持秀明
14:20	シミュレーション	20	フリーソフトによる 骨切りシミュレーション	秋元正宇
14:40	coffee break	10		
14:50	Table discussion: 症例分析・治療計画立案	70	Case 1：顎変形症	近藤 俊
			Case 2：Crouzon病	坂本輝雄 坂本好昭
16:00	分析症例の実際の治療	30		
16:30	修了証授与・記念撮影	10		

§1 基礎的な口腔解剖

朝9時、委員長による開会の挨拶と、コースディレクターの坂本輝雄先生によるオリエンテーションのあと、赤松先生から歯の解剖、正常咬合、歯胚形成・萌出時期、Angle分類などについてレクチャーがありました。基本用語や歯牙の解剖、咬合運動や顎位など、医学部教育では学んでこなかった大事な歯科学の基礎知識をまず頭に叩き込むことから始まります。

受講生全員には歯根が透見でき、歯牙を抜き差しすることができる精巧な咬合模型が渡され、咬合や歯牙形態を学びました。すべての歯牙を抜いてジャラジャラと混ぜてから、元の位置に復元する実習では、どの歯？上下左右はどっち？と、皆さん悪戦苦闘。この模型は皆さん持ち帰っていただきます。ちなみに受講料より高額です(^^)。



§2 歯科X線の読影法・セファログラムの基礎知識

歯科の用語、基礎知識を身につけたあとは、坂本輝雄先生によるセファログラムの読みとトレースの講義・実習です。頭部X線規格写真をトレースし、計測点・計測平面を記入していきます。そして各種分析法に基づいて計測をします。なれない作業でかなりの時間を要しながら、皆さん真剣にトレースに励みました。



§3 プランニング① 矯正歯科の立場から

ランチのあとは、石井先生より外科矯正のプランニングについて、矯正歯科からの視点を中心として講義をしていただきました。あらためて頭蓋顎顔面外科医が知っておくべきセファログラムの計測点と顎変形症の分析法を復習し、ペーパーサージャリー、術式選択、そして治療のタイムスケジュールにおける矯正歯科と外科医との連携、良好なコミュニケーションの重要性についてお話いただきました。



§4 プランニング② 形成外科の立場から

次に形成外科医のお二人の講師から、外科医の立場からのプランニングの考え方について講義をいただきました。まずは宇田先生から、特にaestheticな観点からのプランニング

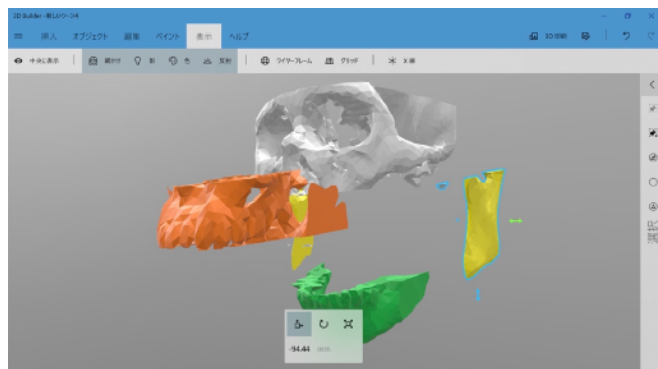
について熱い講義をいただきました。「良い顔を作る」ためには、セファロの分析結果をただなぞるのではなく、顔貌の美醜をさまざまなポイントで分析し、プランニングに反映させることが重要であることを強調する内容でした。

続いて加持先生からは、主として先天性疾患による顎変形を中心に、LeFort II, III型骨切りなどの中顔面の骨延長も含めた総合的なプランニングの考え方についてお話いただきました。



§5 シミュレーション

PCによる骨切りシミュレーションや3D実態模型製作が、現在ではフリーソフトウェアや安価な3DプリンターでDIYで行うことができるようになりました。秋元先生から、CT画像データの加工、変換、そしてシミュレーションのついて、「フリーソフトでここまでできる」を示していただきました。次回2023年の本学術講習会では、秋元先生がコースディレクターを務め、データ処理、シミュレーション、そして3D模型作製に至る知識と技術を集中的に学ぶコースを予定しています。乞うご期待！



§6 Table discussion : 症例分析・治療計画立案

Coffee breakを挟んで、いよいよ実際の症例のデータを用いた分析と治療計画立案の実習です。1テーブル7名での5グループで、それぞれ分析と戦略についての熱いディスカッションが交わされました。各テーブルには矯正歯科の先生方がオーガナイザーとして付き、受講者を的確なアドバイスで導いてくれました。



与えられた課題症例は2例。1例目は近藤先生から提出いただいた顎変形症、2例目は坂本輝雄先生と坂本好昭先生から提出いただいたCrouzon病です。必ずしも答えはひとつではありません。各グループそれぞれ考えをまとめ、計画を立案してくれました。そして最後に、実際にどのような治療が行われたかが明かされ、フィードバックによって更に思考を深めることができました。



講習会の様子：movie

総評

1日がかりの講習会でしたが、洗練されたプログラム、講師の情熱と受講生の熱心さで、あっという間に時間が過ぎました。頭蓋顎顔面外科医に必須の歯科矯正学基礎知識を身に着け、分析、治療計画立案に至る思考と技術を習得する充実の内容だったと思います。受講生の皆様の満ち溢れた笑顔がそれを物語っていました。この矯正歯科学の講習テーマはとても重要ですので、4,5年に1度のペースで開催されています。今回残念ながら受講の機会を得られなかった方は、是非この次の機会に挑戦してください。

最後に、本講習会を成功裏に導いてくださいました講師の先生方、藤田医科大学形成外科の教室の皆様に心から感謝いたします。

受講生とfacultyの皆さん



石井武展

近藤俊

奥本隆行

森下格

須佐美隆史

坂本輝雄

小山明彦

赤松正

加持秀明

秋元正宇

宇田宏一

杠俊介

坂本好昭

Faculty

さて、来年の学術講習会は「顎顔面外科医のためのDIYシミュレーション」がテーマです。デジタルデータのハンドリングをマスターしたい方は是非ご参加ください。

【企画・実行】

日本頭蓋顎顔面外科学会 学術委員会

委員長：小山明彦

副委員長：杠俊介

委員：秋元正宇、宇田宏一、奥本隆行、坂本輝雄、坂本好昭、渡辺頼勝

【協力】

藤田医科大学 形成外科教室